

地球社会基盤学専攻	研究分野	地質学・古生物学	Lab. ID GC22
研究室Webサイト	長谷川研究室: http://earth.s.kanazawa-u.ac.jp/Paleo_Lab/index.html ジェンキンス研究室: http://www.geobiology.jp/ 佐川研究室: http://earth.s.kanazawa-u.ac.jp/~tsagawa/		
研究課題の概要			
<p>地質学・古生物学グループは過去の地球表層環境(地表, 海洋)を地質学・古生物学・地球化学的解析により理解することで, 現在そして将来の地球環境の変化を評価したり, 生物や生態系の進化を理解することを目指しています. 3名の教員それぞれが研究室を運営し, それぞれの専門に応じて研究課題を設定しています. 長谷川卓教授は安定炭素同位体比および有機地球科学的手法を用いて白亜紀, 古第三紀など過去の「温室地球期」の環境解読を進めています. ジェンキンスロバート准教授は主に深海の極限環境に成立する生態系の進化を研究しています. 佐川拓也准教授は深海掘削試料を用いて日本海や北西太平洋の環境変遷を解読しています. どの研究室も, 海外でのサンプリングや国際学会への参加の機会が多いです.</p>			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
<p>博士前期課程学生の多くは卒業研究で培った知識を活かして, 卒業研究課題を継続してより深い議論を目指します. 論理的考察力・プレゼンテーション能力を付けることを重視した指導を行っています. 「研究室ゼミ」と「地質グループゼミ」が週1回ずつ行われ, 前者では化石や生物, 地質試料を用いた正確な観察と分析に基づいた科学的洞察力を高め, 後者では専門分野がやや異なる聴衆にも研究内容が理解できるプレゼン能力を磨きます. 博士後期課程学生は, 英語での専門的議論を行う能力を身につけます. 国際学会での発表や海外でのサンプリングなどのアレンジも自らい行い, 「独立した地球科学者として活動できる」能力を養成します.</p>			
研究室生活の紹介等			
<p>地質・古生物学グループの学生は, 学生居室に一人一人が机を持っています. 同室にいる上級生やポスドクからアドバイスをもらいながら和気あいあいの雰囲気の中で研究を進めています. 特に安定同位体比や有機分子分析を行う学生は, 機器管理を担当するポスドクと分析方法についてしっかりと議論を詰めたうえで分析を行います. フィールドワークが多い分野ですが, これについても先輩たちからのアドバイスは非常に有用です. ゼミでは外部の研究者が参加してくれることも多く, 学会さながらの議論が展開されます.</p>			
教員からのメッセージ			
<p>何気ない「直感的ひらめき」の中に地球を紐解く大事なヒントが隠れています. その「ひらめき」が本物なのかどうか, 最新の知識と装置を使って確かめましょう! 楽しさの中から見つかるものが, 君たちの宝石なのであり, それを手にする君たちは, どの大学を出るよりも輝ける専門家となって羽ばたいていけるでしょう. 楽しいと思って研究することが, 自分の腕を磨き, 技術を身につけることにつながります. それが将来, 就職に有利となり, 社会に出て身を助け, やがて社会に役に立つことになります. 我々が使う手法は, 石油探査会社や環境コンサルタントで役立つ手法ですが, 就職のためという意識ではなく, 興味に従って自分自身の知識・技術を高めるといった意識を持ってもらいたいです. 私たちは楽しく研究をしたいし, 学生諸君にも楽しく知識をつけ, 楽しく研究をして欲しい.</p>			
研究室連絡先メールアドレス	長谷川卓 <jh7ujr*at*staff.kanazawa-u.ac.jp> ジェンキンスロバート(R. G. Jenkins) <robertgj*at*staff.kanazawa-u.ac.jp> 佐川拓也 <tsagawa*at*staff.kanazawa-u.ac.jp>		